

その他の建設業—その他におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16~17	事業所倉庫内で、貨物車の荷台から油圧機械（約300kg）を降ろす作業中、機械キャストのブレーキを掛け忘れ、機械が荷台から落ちそうになり、支えきれず、荷台から落下した際に両手を挟まれ指を負傷した。	33	—
2	14~15	見積り依頼があり、終了して会社に戻る途中、狭い道路で対向車とのすれ違い時、対向車のスピードが速く道路沿いの駐車場に停まっている車にぶつかり、その衝撃で首を痛めてしまった。	27	—
2	13~14	解体した家屋の木材をトラックの荷台に載せる作業をしていたところ、バランスを崩してしまい、木材とともに地面に落下し、両脚太ももを骨折し、尿道が切れ、下半身全体を強打した。	45	—
2	15~16	4tダンプにバックホウを積み込み、ダンプのあおりを戻す際、思ったよりも勢いよくあおりが戻ってしまい、誤って右手を挟み負傷した。	50 55 99	—
3	12~13	フレコン保管場所で大型ダンプのシートをはがし終えて、移動式足場を移動させた直後、歯止めを取ろうとしたところ、大型ダンプが誤発進して歯止めを踏んだため、歯止めがはじき飛ばされ、被災者の左足に直撃し骨折した。	50 64 99	—
3	9~10	資材置場の整備をしていたとき、2tトラック車上（荷台）からバランスを崩して転落した。	19 9	—
4	11~12	倉庫で機械を車に積み込む際、車と背後の機の間で挟まれ、両足を負傷する。	24	—

				9
4	16~ 17	自社工場から作業現場へ向かうため2トン車で走行中、運転操作を誤り、道路右側のガードレールを突き破り、約7メートル下の崖下に転落し、全身打撲、頸椎捻挫を負った。	55	10 ~ 29
6	13~ 14	現場で車の上に物を積んでいる時に、荷締めベルトが切れて、その反動で車体から落ち、怪我をした。	22	1 ~ 9
6	12~ 13	他事業所へ荷物の運搬後、帰社中、信号待ちをしていたところ、3台後ろの後続車両が追突した。そのまま玉突きで車両後部に接触した。病院にて、頸椎捻挫とのことで1週間安静との診断を受ける。	34	50 ~ 99
6	17~ 18	残土搬出をするため4tダンプを開閉中に。右指を挟み負傷した。	40	1 ~ 9
6	15~ 16	車庫で担当者の車点検部品交換（ジョイント）取り替えのため、取りに行く際にステップに足を乗せて降りたところ、足を滑らせ転倒し、左手をついて怪我をした。	60	1 ~ 9
7	10~11	幅約3mの町道上で路肩の除草作業を行っている時に、刈った草を集め、ダンプトラックに積み込もうとして、停止していた2tダンプトラックが合図により後退しようとした時、約1m後方の路肩にいた被災者が、そばにいた作業員に話しかけながらダンプトラックに対して後向きで道路を横切ろうとして、後退し始めたダンプトラックと接触し、気づいた運転手が停車したが、倒れた被災者はダンプトラック下部分に挟まれ圧迫された後、助け出された。	59	1 ~ 9
7	15~16	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	20	10 ~ 29
7	15~16	ケーシングの架台の上にパレットを敷きその上に乗り、扉をのせてクレーンで1m位吊り上げて素手でラップを巻いていたところ、体勢を崩した際、ケーシングに左手	43	10 ~

		でつかまりながら下降したので、ケーシングの突起物（部品）に当たり、怪我をした。		29
7	13~14	会社敷地内で車輛の荷台を片付け中、荷台の上で足をふみはずし、車輛周辺に置いてあった機材の上に左側を下にする形で、転落した。（本人談）発生時には周囲に誰もおらず、推定30分後に、代表者が発見した際、本人はその場にうずくまっていた。	64	1 ~ 9
7	9~10	住宅解体現場において、被災者は、住宅内の二階より、下へ道具（バール）を取りに行こうとした時に内部の階段を使用せず、高さ約1.5mのブロック塀へ飛び降りようとした際足を滑らせ、ブロック塀に横付けしていたアームロール車の荷台へ転落、負傷したものである。	45	10 ~ 29
7	16~17	2tダンプの荷台上で、現場で発生したゴムシートをカッターで細かく切り分け作業中、作業が完了し、荷台から降りる際に、切り分けて山になったゴムシートと荷台のアオリ部に右足が滑り込む形で挟まったまま体制を崩して転落し、一時宙吊りになり、右足を骨折した。	59	1 ~ 9
7	13~14	土壌の詰替場へフレコンを搬入後、詰替場内でフレコンの荷卸し場所の確認のため乗ってきたダンプより下車し、重機のオペレーターと打合せ中に、同じくフレコン搬入作業の2トンダンプの運転手が、合図者の誘導なしで後方をよく確認しないで後進し、打合せ中のところへ接触されて受傷した。	48	1 ~ 9
7	9~10	鉄骨荷下ろし作業時、トラック積荷の上体が反対方向だったため、地切後、荷を回転させながらゆっくり荷下ろししようとしたとき、荷を掴んだ手が滑り、落ちそうになったので飛び降りた際にバランスを崩し、左肩から墜落した。	30	10 ~ 29
7	15~16	事務所敷地内において、社員全員で4tトラックの整理作業を行っていた際、被災者は4tトラックの上で荷おろし作業を担当していた。鉄板（800kg）を降ろすときにバールで隙間を作っていたところ、バールが跳ねて、それを避けようとしてバランスを崩して、トラック上より飛び降りて、右足踵を負傷した。	44	10 ~ 29
9	10~11	事務所前で4t車に資材の積み込み中、玉外しをして荷台より降りる時に左足をくじいた。	26	10 ~ 29

9	14～ 15	上記日時頃、解体工事現場に於いて、ダンプトラックの荷台に乗り、廃材積み込み作業中、地面に落下、悪天候（雨）の為、足元が不安定になり、落下の際、左膝と右肘を強く打撲した。	45	1 ～ 9
9	17～ 18	当社北側資材置場で、翌日の現場準備をする為、2tユニックの荷台に立ち、資材を積み込んでいたところ、足をすべらせ荷台から転倒し、右腕部及び右側肋骨を骨折した。	32	10 ～ 29
9	7～8	当社営業所ヤード内にて足場部材の積み込み作業中、両手に抱えた手摺り材数本をトラック荷台に置いたところ、荷台に仮置きされていた単管（直径48.6mm、長さ1m、重さ2.73kg）に当たり、うち1本の単管が被災者側に落ちてきてしまった、咄嗟のことで避けきれず、安全靴により保護されていない右足小指付近に当たり負傷したもの、その日はそのまま作業を続けたが、次第に痛みが増す為、就業後に受診したものである。	24	1 ～ 9
10	11～ 12	4tダンプトラックの荷台の上で、クレーン仕様バックホーによる大型土のう袋の荷降ろし作業中、荷台の上で大型土のう袋がある環境で、旋回方向の位置から退避しないまま合図を行い、荷が迫ってきたため、荷台より飛び降り着地した際に右足かかと部を被災した。	52	10 ～ 29
10	17～ 18	会社の置き場で道具の整備や、トラックの荷台の清掃をしていた。トラックの掃除が終わり、荷台から飛び降りた際に右足かかとを強打し骨折したものである。その日の作業を終え、帰宅。	51	10 ～ 29
10	17～ 18	建具調整工事での作業が終わり、自社に戻り、駐車場でトラックの荷台に積んでいた。現場で使用した道具が落ちてしまい、それをもとに戻そうとして車から下りる時に、足を滑らして転倒し左手と頭部を負傷した。	70	1 ～ 9
10	10～ 11	現場から産廃処理場まで土を運ぶため、ダンプに土を積み込み、ダンプのキャビンにのった際にバランスを崩し、足を滑らせ、そのまま落下（高さ2m弱）し、地面にあった大きい石に横腹を強打し、受傷したものの。	65	1 ～ 9
10	14～ 15	会社ヤード内で資材整理作業をしているときに単管の上に乗って作業中、乗っていた単管が崩れてトラックから落ち、足を地面についた際ケガをしてしまった。	21	1 ～

				9
10	13～ 14	材料の積み降ろし中、トラックから転落した。	55	1 ～ 9
11	15～ 16	解体現場内で廃材を4tトラックに積み込む作業中、トラックの荷台の上で廃材を整理していた時、足元が不安定だったため、足を滑らせてトラック荷台（高さ2.5m）から転落し、頸部及び頭部を地面（コンクリート）に強打し、受傷した。（保護帽、安全靴着用）	40	10 ～ 29
11	15～ 16	会社の倉庫において、トラックから資材や荷揚げ用ウインチ等の荷降しをしていた。作業終了後、荷台から地上に降りた際、バランスを崩し転倒し、近くに積み上げてあった構造用合板に顔をぶつけ負傷した。	69	10 ～ 29
11	17～ 18	弊社の車庫内で、トラックを車庫に入れて暗がりの中、明日の準備とトラック荷台の清掃をする為、荷台に乗って作業をしていたところ、足元が分からなくなり、荷台から転倒し地面に転落した。	50	10 ～ 29
11	13～ 14	新庁舎建設に伴う解体工事の為、被災者は当日、手作業で解体工事を担当していた。被災者がダンプの荷台の上から、解体するスレート屋根を突っついて壊していた時、足を滑らして落下し、腰を強打した。	66	10 ～ 29
12	9～10	事業所の駐車場で掃除作業をしているとき、2tダンプが止まってしまったので、それを動かそうと後から押していたところ、右足首に痛みがはしり、右アキレス腱を断裂した。	55	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html